



石 磊 (セキ ライ) さん

出身国：中国・上海

出身大学：埼玉大学大学院

専攻：文化科学研究科 日本・アジア研究専攻

内定先：リングロー(株)

□日本に留学した動機

私は、中国でポケモンとかガンダムなどの日本のアニメを見て育ちました。そうしているうちに自然に日本語に興味を持つようになりました。高校3年生のとき、もともと私は理科系の人間でしたが、急に日本語を勉強したくなり文系に変更して、大学では日本語を専攻し、その流れで日本に留学しました。

□日本で就職する理由

中国に戻ることも考えましたが、もし戻ったら日本語の勉強もそこで終わると思いました。やはり、もっと日本語を勉強したいという思いが強かったので第一志望は、日本で就職することでした。また、もう一つの理由は、日本に留学して、日本の生活の便利さ、安全で安心できる環境などを直に知ったことです。中国と比較して給料の差こそ縮まりましたが、環境の差はまだ大きいです。

□現在の就職先の選択理由

「縁」があったのだと思います。私が内定をいただいた会社は、パソコンを取り扱う会社です。私の専攻は日本語で文系なので、一見縁がなさそうなところですが、もともと理系の人間でしたので、パソコンに関することに興味があり、好きだったのが幸いしました。また、この会社で2週間のインターンシップを体験したとき、この会社の社風の良さを感じました。私は、恥ずかしがり屋でとても人見知りをするタイプなのですが、そんな私を気遣って皆親切に話しかけてくれたり、教えてくれたりしてくれたのです。

□企業への自己PR、アピールポイント

地味ですが、強いて言えば誠実さと粘り強さです。

前述したように私は、恥ずかしがり屋でとても人見知りをするタイプなので、自己PRは苦手です。会社の採用試験でも筆記試験とかSPIは通るのですが、面接で落とされ

ていました。しかし、内定した会社では、インターンシップに参加することができ、社員と一緒に仕事をさせていただく中で、私の誠実さと粘り強さをアピールできたのが良かったのだと思っています。

□就職活動開始時期と応募企業数

大学院1年生の6月ぐらいからです。

- ・エントリー 約 110 社、
- ・面接 約 40 社

応募した会社の多くは、書類選考で落とされました。また、面接に進んだ会社でも、多くが1次面接で落とされました。でも決して諦めませんでした。もともと粘り強い性格のせいもありますが、当時憧れていた片思いの異性のためにがんばりました。(笑)

□具体的な就職活動内容

最初は、就活系のセミナーに参加することから始めました。マイナビ、リクナビをはじめ、いろいろなところに登録しました。GGSは、その年の秋に行われたセミナーに参加した時に知り、登録しました。そして、留学生向けの合同会社説明会や面接会には必ず参加するようにしました。説明会でもらってきた資料の内容を確認、整理して、エントリーする会社を決めました。留学生向けの合同説明会は私達留学生にとって一番大事だと思います。

□GGSで役に立った、または心に残るアドバイス

就活中、GGSからよく電話をもらいました。そして私の活動状況を聞いたうえで、私に合いそうな企業の情報などいろいろアドバイスをもらいました。ほかのところは、メールばかりなので、電話でのアドバイスはうれしかったですね。

また、最終面接まで進んで合格すると思っていたある会社

に落ちたとき、さすがにすっかり落ち込んでしまいました。そのとき、たまたま大学の先生からGGSの出張相談会があることを教えていただき、参加しました。自分の落ち込んだ気持ちを率直に話し、聞いてもらうことで、ネガティブな気持ちを吹っ切ることができました。そして、「あなたは、優秀なんだからもっと自分に自信を持ちなさい！」と言われてまたやる気を取り戻すことができた気がします。



□事前準備、企業研究

面接に臨む前には、企業のHPなどで最低限の知識を得てから臨むようにしましたが、調べたことを丸暗記することは、不自然になるのでお勧めしません。その場で自分で考えて話す方が良いと思います。

□エントリーシート、履歴書

市販されている本を何冊か買って勉強しました。それらを参考に自分で書いたものを大学の先生に見てもらい、修正して準備しました。本にあるものを丸々コピーしたり、一

部だけ変更するようなことをする人もいましたが、文として不自然になるのでやめた方が良いと思います。

□面接での注意点

最初の2～3回は、「リラックスしろ」と言われても緊張すると思います。それは、仕方がないことだと思います。ただ、面接から帰ったら反省する必要があると思います。どこが良くなかったのか、悪い点ばかり探すのではなく、どうすればよくなるのかを考えることが大事です。

□抱負と将来設計

内定した会社は、まだ中国に進出していませんが、数年後、私が会社の中で成長し、実力をつけた暁には、中国市場を開拓したいと思います。また、同期入社の留学生で非常に優秀で即戦力になれる人がいます。私は、その人にはまだまだ及びませんが、その人に追いつき、追い越すつもりで頑張りたいと思います。

□後輩へのアドバイス

留学生にとって就職活動はとても辛く、またダメなら帰国する道もあるので、何か困難にぶつかるととても諦めやすいと思います。でもそういうときは、どんな方法でもいいのでモチベーションを上げる努力をして、歯を食いしばって最後まで頑張ってください！

私の場合は、大学で開催されたGGSの相談会に参加することで、モチベーションを上げることができました。

□GGS から一言

石 ライさんが内定を勝ち取った会社は、目下急成長中のパソコンのリサイクル会社です。でも、そこにたどり着くまでには、たくさんの失敗や挫折がありました。

とてもシャイで人見知りするために面接が苦手な石さんが、それでも最後に良い結果を得ることができたのは、自分の良さ（誠実な人柄と決して諦めない粘り強さ）を面接以外でアピールするためにインターンシップに挑戦したことが良かったのだと思います。

石 ライさん、就職内定おめでとうございます。